

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 2 年 2 月 20 日 (2020.2.20)

【公開番号】特開 2018-86572 (P2018-86572A)  
 【公開日】平成 30 年 6 月 7 日 (2018.6.7)  
 【年通号数】公開・登録公報 2018-021  
 【出願番号】特願 2018-43752 (P2018-43752)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 1 月 9 日 (2020.1.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を制御する遊技制御手段と、遊技の演出を実行する演出制御手段と、を備える遊技機において、

前記演出制御手段は、

前記遊技において出力される音を出力する音出力手段と、

前記遊技制御手段から入力されたコマンドを解析するコマンド解析部と、

前記コマンド解析部による解析結果に基づいて、前記演出を実行するための手順が定義されたスケジューラデータを選択し、当該スケジューラデータに基づいて演出装置を制御可能とする演出実行部と、

を備え、

前記音出力手段は、音を割り当てることによって出力可能なチャンネルを有し、

前記チャンネルは、出力する音の種類に基づいて複数のグループに分割され、

前記演出制御手段は、前記複数のグループに含まれる特定グループに属するチャンネルに割り当てられている音の出力中に、前記特定グループとは異なるグループに属するチャンネルに割り当てられる音の出力が新たに要求されても当該音の出力を抑制し、

前記遊技において、音の出力を所定期間抑制する演出を実行可能とするものの、前記音の出力を所定期間抑制する演出の実行中であっても当該所定期間よりも出力時間の短い特別音の出力を可能とし、

前記特別音は、前記音の出力を所定期間抑制する演出に基づかない演出に関わる音であり、当該所定期間以外のタイミングであっても出力可能とし、

前記スケジューラデータは、前記演出装置を制御するための命令であるファンクションを含んで構成され、

前記ファンクションには、実行中のスケジューラデータから他のスケジューラデータの実行を呼び出すファンクションが含まれ、当該ファンクションは、呼び出すスケジューラデータとして 2 以上のスケジューラデータを指定可能な分岐情報を設定可能とし、当該呼び出し元のスケジューラデータの処理に復帰することなく他のスケジューラデータによる処理を実行可能とすることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上述した目的を達成するため、本発明の代表的な実施形態では、遊技を制御する遊技制御手段と、遊技の演出を実行する演出制御手段と、を備える遊技機において、前記演出制御手段は、前記遊技において出力される音を出力する音出力手段と、前記遊技制御手段から入力されたコマンドを解析するコマンド解析部と、前記コマンド解析部による解析結果に基づいて、前記演出を実行するための手順が定義されたスケジューラータを選択し、当該スケジューラータに基づいて演出装置を制御可能とする演出実行部と、を備え、前記音出力手段は、音を割り当てることによって出力可能なチャンネルを有し、前記チャンネルは、出力する音の種類に基づいて複数のグループに分割され、前記演出制御手段は、前記複数のグループに含まれる特定グループに属するチャンネルに割り当てられている音の出力中に、前記特定グループとは異なるグループに属するチャンネルに割り当てられる音の出力が新たに要求されても当該音の出力を抑制し、前記遊技において、音の出力を所定期間抑制する演出を実行可能とするものの、前記音の出力を所定期間抑制する演出の実行中であっても当該所定期間よりも出力時間の短い特別音の出力を可能とし、前記特別音は、前記音の出力を所定期間抑制する演出に基づかない演出に関わる音であり、当該所定期間以外のタイミングであっても出力可能とし、前記スケジューラータは、前記演出装置を制御するための命令であるファンクションを含んで構成され、前記ファンクションには、実行中のスケジューラータから他のスケジューラータの実行を呼び出すファンクションが含まれ、当該ファンクションは、呼び出すスケジューラータとして2以上のスケジューラータを指定可能な分岐情報を設定可能とし、当該呼び出し元のスケジューラータの処理に復帰することなく他のスケジューラータによる処理を実行可能とすることを特徴とする。